

新たな対策、集水域（森林区域）における流域治水対策について（現行対策との比較）

【現行対策】
土石流・流木対策

【目的】危険渓流における
土石流・流木被害の防止

◆保全対象
渓流直下の人家等
(1地区当たり20戸以上)

対象)土石流が発生しやすい地形
である凹地形の占める割合
が流域の25%以上の箇所

治山ダム

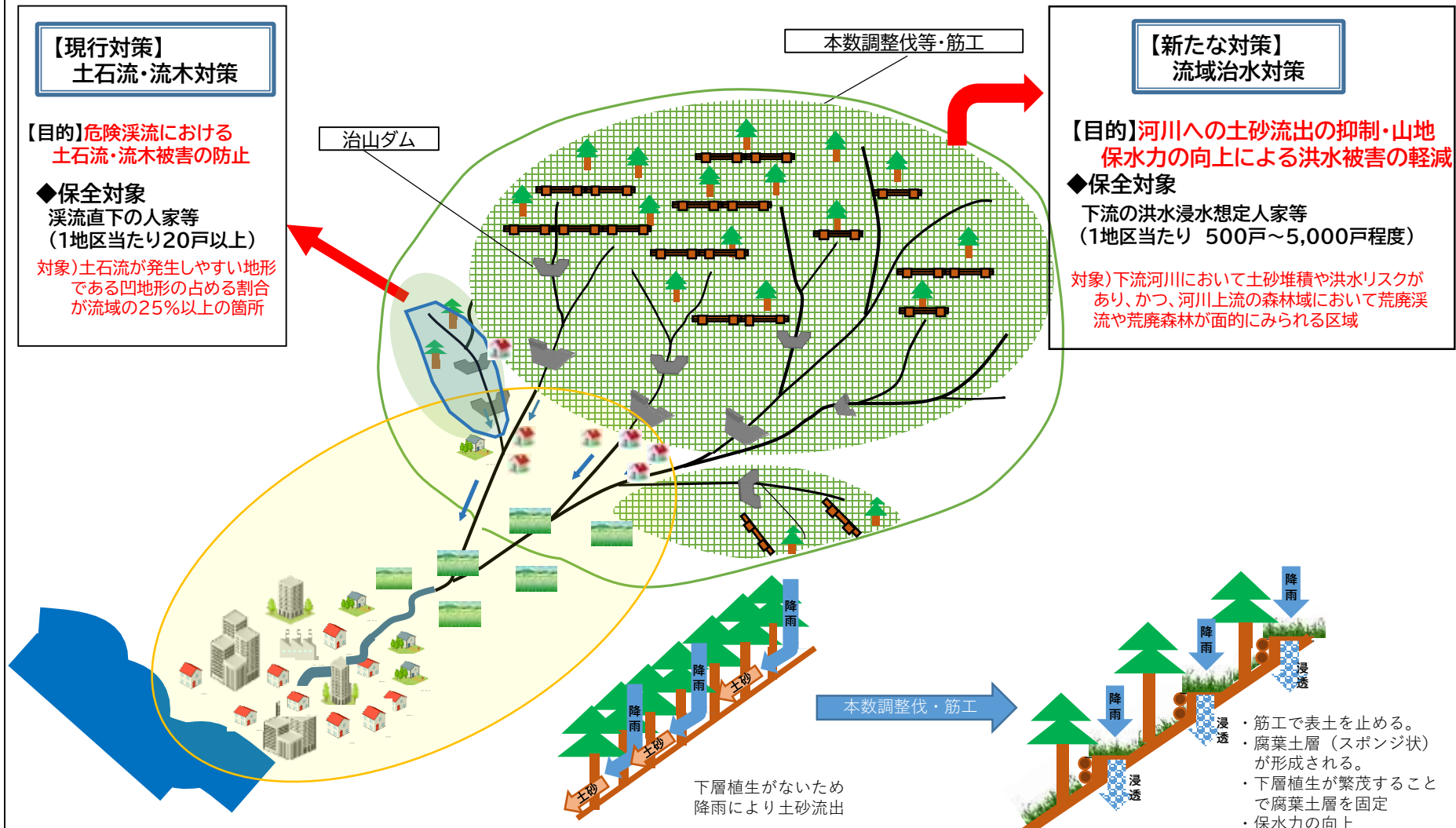
本数調整伐等・筋工

【新たな対策】
流域治水対策

【目的】河川への土砂流出の抑制・山地
保水力の向上による洪水被害の軽減

◆保全対象
下流の洪水浸水想定人家等
(1地区当たり 500戸～5,000戸程度)

対象)下流河川において土砂堆積や洪水リスクが
あり、かつ、河川上流の森林域において荒廃渓
流や荒廃森林が面的にみられる区域



本数調整伐・筋工

